

観光振興計画アクションプラン作業部会について

資料2

1 アクションプラン作業部会とは

・アクションプランは、観光客が楽しむことができる具体的なコンテンツを生み出し、「ながのファン」を創出するためのプロジェクトです。善光寺界隈、戸隠、松代に加え、未活用の資源が豊富な中山間地域において立案・実施します。具体的な実施内容などは、各地域の観光関連事業者等が検討を行います。この検討を行う組織が、アクションプラン作業部会です。

・市は、検討結果を精査し、予算化に努めることでプランの実施を担保します。

2 各作業部会の検討状況

部会名	開催回数	取組内容	検討しているコンテンツ	今後のスケジュール
善光寺界隈	4回	善光寺界隈での滞在時間を増やすため、中心市街地の周遊ツールを検討	既存の表参道の周遊ツールである「七福神めぐり」に着目。これまでにないやり方をしないと注目されないという観点から、シンボルになりそうな人を「リアル七福神」に指名し、その人に会いに行くというコンセプトで中心市街地の周遊ツールを検討中	実施可能なものを秋頃までに実施する予定
戸隠	3回	グリーンシーズンは混雑しているため、秋から冬にかけての閑散期に提案するコンテンツを検討	「神社」、「山岳」、「伝統・文化・暮らし」の3グループで検討中 「宿泊客対象に“心の清浄”として、早朝、作務衣着用で戸隠神社境内や社殿の掃除、神事を体験し参加者限定の御守りなどをプレゼント」、「戸隠の湧き水を戸隠限定ボトルで汲み、山頂でコーヒーを味わう。」、「戸隠竹細工の手作りにかんじきで雪上ハイキング」などのコンテンツについて検討中	今年度、秋から冬に実施する予定
松代	5回	観光事業者の売上げの増加と、観光コンテンツの造成(体験プログラムやまち歩き、ショッピング、飲食を結びつけるきっかけ作り)	ろくもんGO(販売促進グッズとして、真田家の家紋にちなみ本物の寛永通宝をプレゼントするもの)	今年度中に準備作業を終え、来年度から事業開始の予定
中山間地域		中山間地域は広範囲にわたるため、三部会の取組の中で連携できる内容の有無を確認中		連携できる内容の有無を確認した上で、具体的な作業を開始する予定